

(様式2)

平成29年度～令和6年度 社会福祉法人紋別市百年記念福祉会 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	(福)紋別市百年記念福祉会		法人番号	2450005003406				
法人代表者氏名	理事長 古 寺 純 嗣							
法人の主たる所在地	北海道紋別市上渚滑町和訓辺 9 5 番地							
連絡先	0158-25-2111							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日								
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	令和4年5月25日							
評議員会の承認年月日	令和4年6月23日							
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (平成28年度末現在)	1か年度目 (平成29年度末現在)	2か年度目 (平成30年度末現在)	3か年度目 (令和元年度末現在)	4か年度目 (令和2年度末現在)	5か年度目 (令和3年度末現在)	小計	社会福祉充実事業未充当額
	501,100 千円	563,670 千円	581,350 千円	610,850 千円	657,480 千円	665,630 千円		665,630 千円
うち社会福祉充実事業費 (単位：千円)						▲2,200 千円	▲2,200 千円	
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	6か年度目 (令和4年度末現在)	7か年度目 (令和5年度末現在)	8か年度目 (令和6年度末現在)	9か年度目 (令和7年度末現在)	10か年度目 (令和8年度末現在)	か年度目 (年度末現在)	合計	社会福祉充実事業未充当額
	640,660 千円	560,030 千円	0 千円					0千円
うち社会福祉充実事業費 (単位：千円)	▲24,970 千円	▲80,630 千円	▲560,030 千円				▲667,830 千円	
本計画の対象期間	平成29年8月1日～令和7年3月31日							

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費
1か年度目	障がい者支援施設 オホーツク福祉園・こまくさ学園移転改築工事	社会福祉事業	新規	オホーツク福祉園既存の建物が38年経過し、(当初計画提出時34年)近年老朽化による修繕費支出増が見られること。又、利用者の高齢化・重度化に対応するためにも建替が急務と判断した。加えて隣接しているこまくさ学園は、(28年経過)さらに重度利用者が多いことにより転倒事故があるため早急なバリアフリー化への対応としたい。 また、将来の法人全体での運営の効率化・合理化、施設運営のサービス向上、施設経営の安定化、そして建替コストを考慮した結果、同時改築(合築)としたい。	有	
						小計
2か年度目	同上	同上	同上	同上	同上	
	小計					
3か年度目	同上	同上	同上	同上	同上	
	小計					
4か年度目	同上	同上	同上	同上	同上	
	小計					
5か年度目	同上	同上	同上	同上	同上	2,200千円
	小計					2,200千円
6か年度目	同上	同上	同上	同上	同上	24,970千円
	小計					24,970千円
7か年度目	同上	同上	同上	同上	同上	80,630千円
	小計					80,630千円

	小計					80,630千円
8か年度目	同上	同上	同上	同上	同上	2,140,600千円
	小計					2,140,600千円
9か年度目						
	小計					
10か年度目						
	小計					
合計						2,248,400千円

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	オホーツク福祉園既存の建物が38年経過し、(当初計画提出時34年)近年老朽化による修繕費支出増が見られること。又、利用者の高齢化・重度化に対応するためにも建替が急務と判断した。加えて隣接しているこまくさ学園は、(28年経過)さらに重度利用者が多いことにより転倒事故があるため早急なバリアフリー化への対応としたい。 また、将来の法人全体での運営の効率化・合理化、施設運営のサービス向上、施設経営の安定化、そして建替コストを考慮した結果、同時改築(合築)としたい。
② 地域公益事業	①の取り組みを実施する場合、残額は発生しないため、実施はしない。
③ ①及び②以外の公益事業	

4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	小計
障がい者支援施設 オホーツク福祉園・こまくさ学	計画の実施期間における事業費合計					2,200千円	2,200千円
	財源構 社会福祉充実残額					2,200千円	2,200千円

園移転改築 工事		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						
事業名	事業費内訳	6か年度目	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合計	
障がい者 支援施設 オホーツク 福祉園・ こまくさ学 園移転改築 工事	計画の実施期間に おける事業費合計	24,970 千円	80,630 千円	2,140,600 千円			2,248,400 千円	
	財源 構成	社会福祉 充実残額	24,970 千円	80,630 千円	560,030 千円			667,830 千円
		補助金						
		借入金			1,227,600 千円			1,227,600 千円
		事業収益			千円			千円
		その他			352,970 千円			352,970 千円

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

5. 事業の詳細

事業名	障がい者支援施設 オホーツク福祉園・こまくさ学園移転改築工事
主な対象者	現在利用者
想定される対象者数	オホーツク福祉園施設入所定員50名・生活介護日中利用者定員60名・通所利用者定員10名 こまくさ学園施設入所定員40名・生活介護利用者定員40名・短期入所定員4名
事業の実施地域	紋別市
事業の実施時期	平成29年8月1日～令和7年3月31日 (2017年8月1日～2025年3月31日)

事業内容	<p>オホーツク福祉園既存の建物が38年経過し、(当初計画提出時34年)近年老朽化による修繕費支出増が見られ、利用者の高齢化・重度化に対応するためにも建替が急務である。加えて隣接しているこまくさ学園は、(28年経過)さらに重度利用者が多いことにより転倒事故があるため早急なバリアフリー化への対応もしたい。</p> <p>また、将来の法人全体での運営の効率化・合理化、施設運営のサービス向上、施設経営の安定化、そして建替コストを考慮した結果、同時改築(合築)したい。</p>	
事業の実施スケジュール	1か年度目	事前協議、検討
	2か年度目	協議、検討継続中
	3か年度目	協議、検討継続中
	4か年度目	協議、検討継続中
	5か年度目	調査・基本・実施設計の入札及び契約、測量・地質調査
	6か年度目	実施設計、補助申請、農地転用審査、開発行為審査
	7か年度目	土地取得、監理・工事入札及び契約、工事終了・引き渡し
	8か年度目	令和6年4月1日開所(2024)
事業費積算 (概算)	<p>別紙建築設計、調査等業務委託契約書のとおり 別紙基本設計書工事費概算(令和4年2月現在)のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国庫補助金は、申請手続きは進めるが、未確定のため財源構成からは、除外した。 ●契約済みである建築設計、調査等業務委託費107,800,000円、移転改築工事費概算2,140,600,000円、合計2,248,400,000円の事業費概算となる。 令和4年3月31日末現在の施設整備及び設備整備積立金1,020,800,000円、不足額1,227,600,000円を借入金とした。 	
	合計	2,248,400千円 (うち社会福祉充実残額充当額 667,830千円)
地域協議会等の意見と その反映状況		

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

計画当初、平成33年(2021)4月1日開所予定で建設計画を立てていたが、法人全体での運営の効率化・合理化、施設運営のサービス向上、施設経営の安定化、そして建設コストを考慮した結果、同時改築(合築)計画に変更となる。

また、建設場所にかかる既存施設地域の皆様方との継続協議が必要となり建築スケジュールが先延ばしになったことにより、開所時期を令和6年(2024)4月1日とし3年間延期することになったため。